

次亜水スーパー消毒水の取扱い

本消毒水は、原液濃度600ppm・pH12.4で製造しております。
下記表に従って希釈してご使用ください。

『手』の消毒に使用する場合 <small>(注:1)</small>	水で10倍に希釈する <small>(注:2)</small>	手に直接噴霧して下さい。 10秒程度で殺菌効果があります。 ※違和感を感じたら流水で洗い流してください。
『ドアノブ、テーブル』 面等の頻繁に手で触れるところ の消毒に使用する場合	水で10倍に希釈する ※原液(600ppm)でも使用可能です	噴霧しながら清拭で除菌して下さい。 数秒で殺菌効果があります。
『食器等』 の消毒に使用する場合	原液で使用する	従来洗浄後、噴霧し10秒程度放置させ流水し乾燥させて下さい。
『まな板、包丁』 などの消毒に使用する場合	原液で使用する	従来洗浄、噴霧し30分程度放置させ流水し乾燥させて下さい。
『広い場所、部屋全体』 学校教室、厨房、広間など部屋全体 の消毒をする場合	水で10倍に希釈する	エアーコンプレッサーをお使い下さい。 湿る程度で殺菌効果はあります。 そのまま自然乾燥または拭き取ってください。

注:希釈する『水』は水道水でも問題ありません

＝以下を必ずお読み下さい＝

(注:1)

次亜水スーパーは、原液を10倍に希釈すると濃度60ppm・pH11.3なので、『手・指』の消毒に使用しても問題はありますが、万が一、肌に違和感(ピリピリ感など)を感じた場合は、すぐに流水で洗い流し、その後の『手・指』へのご使用はおやめください。また、使用後に塩素の臭いが気になる場合は、消毒後、流水で洗い流してください。

(注:2)

10倍に希釈後の濃度は60ppm・pH11.3です。この濃度での除菌・殺菌の効果は十分に得られていることが実証されております。肌や人体への安全性を確保するために必ず上記の希釈にてご使用下さい。

※本消毒水は乾燥後、希釈度合いにより微量の残留塩素が発生します。60ppm(本品を約10倍にした場合の濃度)の場合、体内に取り込まれても影響ありません。噴霧し数秒後、簡単な流水で塩素分は取り除けます。

※保管(原液・希釈後の消毒液)は、直射日光を避けて、できるだけ涼しい場所で保管下さい。黒いビニール袋や黒い容器などに入れて保管または使用することをお勧めしています。希釈後の消毒液はなるべく早くご使用ください。

※中和されてしまいますので酸性洗剤とは混ぜないでください。

※原液は漂白効果もありますので衣類へのご使用はご注意ください。(10倍希釈では漂白効果の報告はありません)

※ワックスの床でのご使用はワックスが落ちる場合があります。

※加湿器でのご使用はおやめください。

※使用する量だけ希釈してお使いください。

※保存状況にもよりますが、次亜塩素酸ナトリウムは期間とともに効果が薄くなっていきますのでお早めにご使用下さい。(ご使用の目安は4ヶ月です)

次亜水スーパーへのご質問、消毒作業についてのご不明な点やお聞きになりたいことなどは、いつでも当社までお問合せください